

井の頭恩賜公園花便り



センニンソウ（仙人草）

キンポウゲ科のつる性の多年草で、盛夏から初秋にかけて白い花を多数付けます。和名の仙人草は花が終わった後に果実から伸びた銀白色の長毛が密生している様子を仙人の髭に例えたようです。また、有毒植物であるため「ウシクワズ・牛食わず」や「ウマノハオトシ・馬の齒落とし」などという別名もあります。



ヤブミョウガ（藪茗荷）

ツクサ科の多年草で、地下茎を伸ばしながら広がっていく為、しばしば群生します。夏から秋にかけて、上へと段々に咲く一日花です。花びら3枚、がく3枚からなりますが、どちらも白く薄い質感なので花びらが6枚あるように見えます。野菜の茗荷（みょうが）とは別の種類ですが葉が似ているためこの名が付けました。



★ **センニンソウ**

★ **ヤブミョウガ** ヤブミョウガは園内随所にあります



ひゃくさいくん・ひゃっこちゃん

・花便りに関するご質問は井の頭恩賜公園案内所【0422 - 47 - 6900】までお問い合わせください。